

「未来高岡」ステップアップトーク（醍醐地区）会議記録 ＜要旨＞

1、日 時 平成 28 年 9 月 26 日（月） 午後 7 時 30 分から 8 時 30 分

2、場 所 醍醐公民館

3、出席者 市民 55 名（うち女性 7 名）

高岡市 市長、経営企画部長、広報統計課長

4、会議次第

(1) 高岡市総合計画基本構想の紹介

(2) 参加者との意見交換

.....

(1) 高岡市総合計画基本構想の紹介

(2) 参加者との意見交換

参加者

- ・市民創造都市に向けて取り組んでいくには、人口の維持や増加が重要であると思う。高岡市では、都市計画区域の見直しによって、いくつかの地区で市街化区域への編入がされ、それによって戸出地区では、戸出 2 丁目周辺での住宅団地の造成や、北般若や西部金屋において企業系の開発ができるようになる」と報道されていた。総合計画基本構想では、高岡市の将来の目標人口を、2060 年で 12 万 5 千人としているが、目標人口の設定にあたり、それらの要因が反映されているのか。

市長

- ・現在、女性が一生に産む子どもの人数が約 1.5 人、東京では約 1.1 人とされており、ある調査によれば、若者が希望する子どもの人数は平均 1.9 人程である。
人口減少が進む中、日本全体では一億人の人口を維持したいとの方針であり、高岡市においても、2060 年には 9 万人程になると推計されるところを政策努力により 12 万 5 千人を維持したいと考えている。また、生産力についても現在の総量を維持したい。
人口減少が進む中、それに見合う行財政運営を行っていくためには、魅力のある仕事をつくる、魅力ある人を育てる、魅力あるまちをつくるという取り組みが重要である。高岡市は、過去 10 年以上にわたり人口減少が続いていたが、平成 27 年度に 19 年ぶりに、高岡市への転入者が転出者を上回る社会増となった。現在、原因を分析しているが、小矢部市にアウトレットパークができるなど、市外、県外からの若者の流入があったと思われる。戸出のオフィスパークには最先端の技術を持つ企業も入居しており、今後も若者に魅力ある企業の誘致を図っていきたい。

参加者

- ・日本の借金は 1,047 兆円で、富山県の借金が 1 兆 2,000 億円、高岡市の借金が 1,000 億円で、市民 1 人あたりでみると 1,000 万円程となり、そのほとんどが国債や地方債で、実質国民の預貯金で賄われていると聞いたことがある。人口減少が進んでいく中、大幅な税収増も見込めず、このまま借金が増え続けていくと将来が不安である。市の総合計画の中で、借金の返済等についてどのように記載しているのか。

市長

- ・将来の世代が納得できるようなお金の使い方をしなければならない。福祉や教育などは国全体の問題でもあり地方財政は国全体で支えていることから、国民全体で消費税の問題や行政サービスのあり方を考えていかななくてはならない。

参加者

- ・将来の介護と医療について不安を抱えている高齢者が多い。将来的に、医療や介護は国で支えきれなくなり、すべて地域でしなければならない時代がくるのではないか。今年、高岡市で「高岡市地域福祉計画」が策定されたが、医療や介護の充実を図り地域にとって住みやすくなるよう取り組んでほしい。

市長

- ・国や自治体にとっても地域の力は重要である。医療や介護など、必要とされている方々にスムーズに接触できる仕組みが重要だと思うので、ネットワークを作っていきたいと考えている。

参加者

- ・醍醐地区では、自治会単位で競い合う住民運動会や、男女混合の綱引き大会、ビーチボール大会、ボーリング大会など地域の絆を深める様々な催しが行われている。新しい総合計画では、校下、地区を単位とした活動をどのように支援する仕組みが想定されるのか。

市長

- ・地域での取り組みは、地域力や市民力を高めるという点で重要であり、積極的に活動していただいていることに感謝している。地区の公民館まつりなどでも素晴らしい作品が展示されており、地域にとってどのような支援が必要なのかご相談させていただきたい。

参加者

- ・子どもたちの安全、安心に関する予算はなるべく削減しないでほしい。最近、千鳥丘小学校と東五位小学校が統合するという話を聞いたが、統合された場合、家から学校までの

通学距離が遠くなる生徒が出てくると思う。子どもたちの安全についてどのように考えているか。

市長

- ・現在、小学校のあり方について検討を行っている。石堤小学校は、2つ以上の学年の生徒を1つに編制した複式学級の方式をとっているが、小学校の編成後は、子どもたちにとってどのような環境が良いのか地区の実情に合わせた対応をしていきたい。